



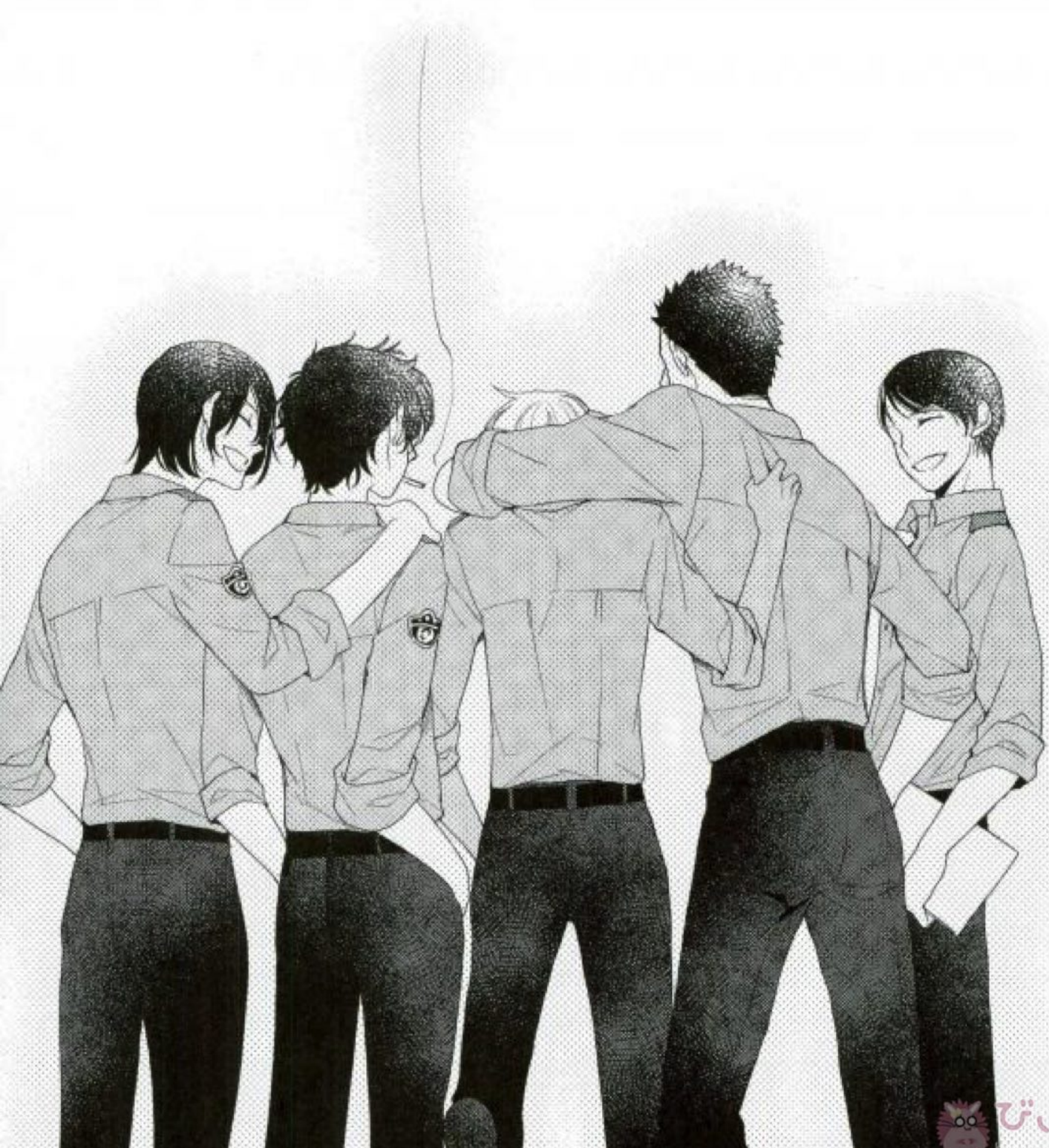
For Adult Only



おなか

育時風のての方

遠くない昔、
幸福と思える時間が
自分にも確かにあつた







いや、ほんと何かしてなくちゃいられなくてさ

好きでやってるところあるし... 気にしないでくれ

それに...



降谷さんっ!

俺は明日は非番だし

本当にあと少しだけなんだよ



それに?

いや、なんでもない!



お前も遅くまでお疲れ

早く帰って休めよ



降谷さん...

何年も追っていた組織を追い詰めて瓦解させたのが3ヶ月前



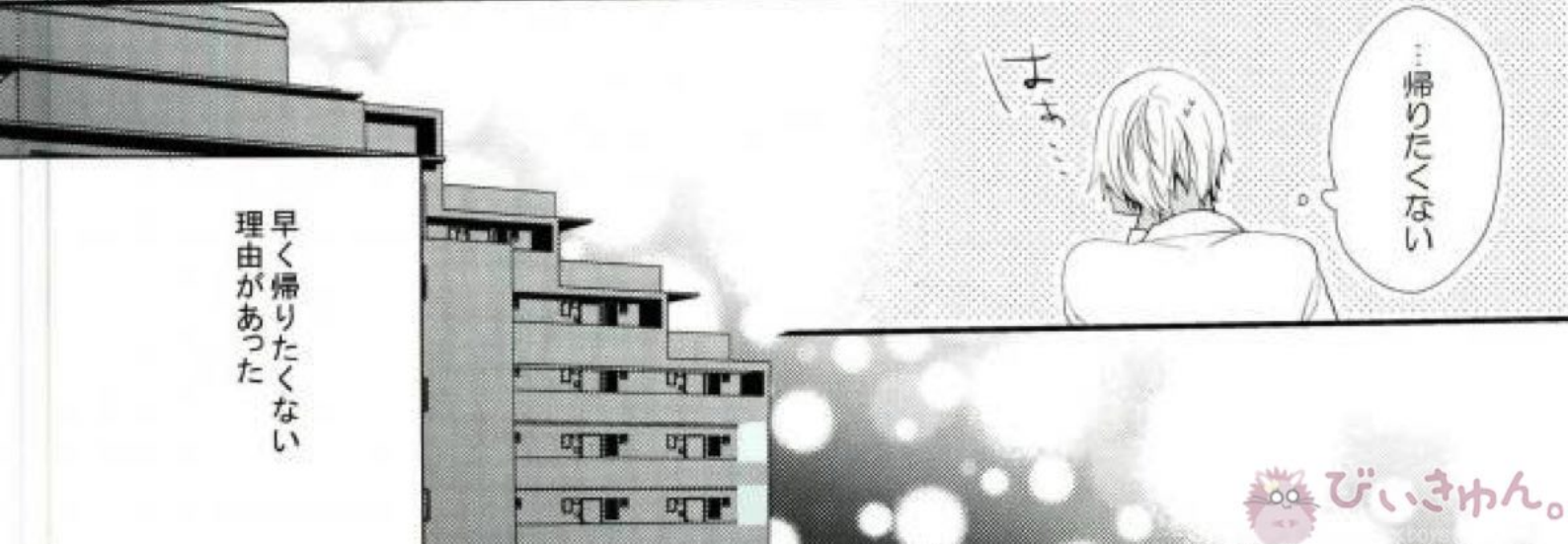
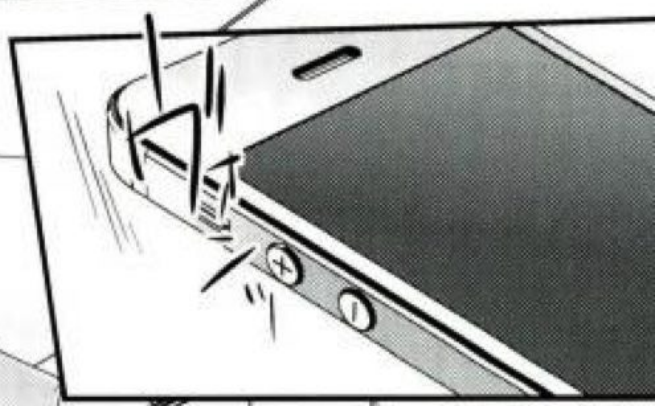
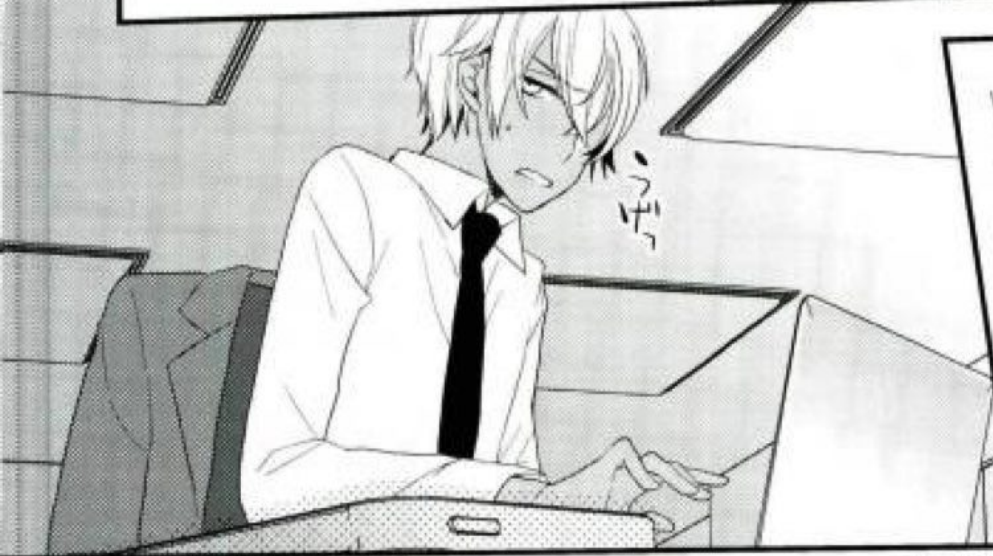
完全平和とは
いかないが

とりあえずの
決着は着いた

幹部は残らず逮捕し
(中には自害を選んだものもいたが)

後に残ったのは
山のような
後処理で

世界中に散らばっている
組織の残党を狩り尽すのには
まだ少し時間がかかるだろう



早く帰りたくない
理由があった

...帰りたくない



おかえり
安室くん

…ただいま
帰りました

…赤井



—自分の周りで
変わった事といえば

赤井秀一とは(なぜか)
同居人という形に
落ち着いた事だった

今日は
ハヤシライス…

いただきます

あ
いただきます

赤井、変なメールを
送るのはやめて
くれませんか

変な…とは？

帰りが遅いから
迎えに来るとか
そういうのです

僕は成人してますし、
警察官です
心配はいりません

そう言わなければ
君は帰って
こないだろう

君、明日はオフ
なんだろう

予定は
決まっているのか

ええ

久しぶりに
ホアロに顔を
出そうと思います

事後処理が忙しくて
ずっと欠勤してましたし

それより身体を
休めることが
先決だと思いが

うーん…

そうは
思うんですが

僕ってずっと
トリプルフェイス
だったじゃないですか

一日ほかっと休みが
空くと何したらいいのかわ
からなくなっちゃうんですよ

君はとんだワーカー
ホリックだな

日本人は
働きすぎだ

…そういう
貴方だってかなりの
ワーカーホリック
じゃないですか

俺は休める時には
きちんと休んでる

君とは違ってな!



大丈夫です

そうか

おかわりは？

美味しかったです
ごちそうさまでした



はいはい

まあ、ホアロに
顔を出すのは
午後からなんで
朝はゆっくりしますよ

ガタン



安室くん



なんです…





あ...

それ

明日洗うので
そのままに
して置いて下さい

僕、
もう風呂入って
寝ますね

正直

赤井秀一がいる
この空間に
慣れていない



大体なんで
僕の家なんだ？

工藤夫妻が帰国した
からといって
他のFBIのようじゃ
ホテルに泊まればいいのか

赤井が



はい

安室くん

何を考えてるのか
わからない

眠れないのか

そして
この状況だ

いえ、
そんなんじゃないです

何が悲しくて
三十路の男同士で
一緒のベッドに
寝なくちゃ
ならないんだ？

「安室さんお願い」

「赤井さんを
安室さんの家に
置いてあげて
くれないかな」

組織壊滅の立役者で
恩人でもある少年に
そう頼まれたら
断ることなんて
出来なかった

けれど断固として
断るべきだったと
今では思う

「寝室には
絶対入らない」

「お互いの生活には
干渉しない」

それが条件
だったのに

安室くん!

あ…かい…?

「すまない」

「酷くうなされて
いたから」

それが赤井が
僕の寝室に入った
言い訳だった

毎晩のように
うなされる僕に

赤井が添い寝をするように
なるのに時間はかからなかった

洪々同意した反面
正直安堵もしていた

どういう訳か
組織時代から僕は
赤井が傍にいと
深く眠れた

本能でわかって
いたんだと思う

この男の傍は
安心なのだ



赤井とは何度か
関係を持ったことがある



でもそれは
組織壊滅とほぼ
同時期に解消した



だから

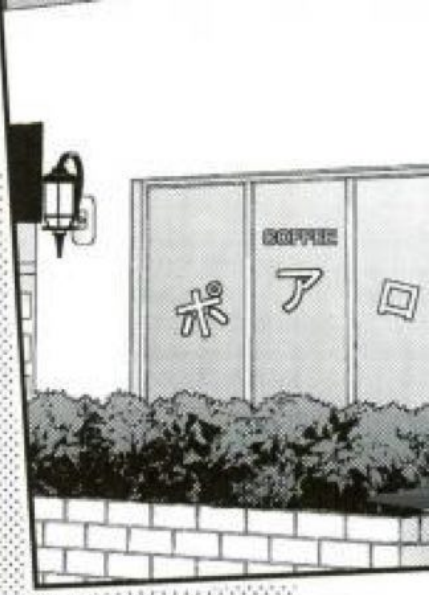
今の僕と赤井の
関係は友人とも
同志とも言い難い
関係であることは
確かだった



.....
赤井が帰国したら
また眠れなく
なるんだろうか

それは
少し...困るかな





安室さん
少し痩せた？



公安の仕事
忙しいんじゃないの？



そうかな？
自分では
気付かないけど

ここにきてて
大丈夫？



僕、ここで働くの
好きだから

いい気分転換に
なるしね



なら、
いいけど

ザズー



大丈夫



…赤井さんとは
うまくやれてる？

まあ



寝る時
以外は

今のところは
問題ないけど



けど？

変に語尾を
捕らえないでくれ

僕とあいつの間には
もう確執も何も
残ってないしね

コナン君が
心配するような事は
何も起こってないから



ふーん……

それより薬の
解毒剤の研究は
進んでるのかい？

うん

灰原が各機関の
特別医療チームと
進めてくれてる

早ければ2、3ヶ月…
遅くとも半年以内には
完成するだろうって

そうか…

コナン君とも
もうすぐ会えなく
なっちゃうのか

さみしいなあ

俺は早く高校生に
戻りたいけどね

出席日数のこと
考えると
頭がいてーぜ…

そうだよね

軽率なこと
言っちゃって
ごめんよ





確かに早く
「工藤新一」に
戻りたいのは
本当なんだけど



うん？



コナンくんのお墨付きが出たなら
店長にかけあつて
みようかな

あのさ



「江戸川コナン」が
いなくなることに
不安もあるんだ



「江戸川コナン」は
本当に沢山のひと
知り合った

子供から大人まで
警察、FBIやCIA…
自分でも驚くぐらい
いろんな人達と…

ほとんどがコナン
だから知り合えた
人達なんだと思う

「江戸川コナン」を
消すってことは

俺はコナンの時に
知り合った人達と
また知り合うところから
始めなきゃならない

彼らを知ってるのに
知らない振りして
「はじめまして」から
はじめなくちゃならない

嘘をついていた
ことを謝りたくても
出来ないんだ

俺がどんなに
彼らを知っていても

みんなは
「工藤新一」を
知らないんだから



…ねえ

僕が知ってる
江戸川コナン
という少年は

すごく賢くて
聡くて勇敢な
子供だった

僕も沢山
助けられたよ

出し抜かれた事も
あるけどね

でも

君がいつも真実を
見極めようと
頑張っていたのを
僕は知っている

事件に首を突っ込んで
無茶をするのを見ては
ハラハラしてたのも
事実だけど



君なら、
やってくれるって
信じられた

僕だけじゃない

君の周りの人達は
みんなそうさ

みんな君を
信頼していて
君のことが
大好きだ



江戸川コナンは
全部君だろ？

新一くん

消える訳
じゃない

「江戸川コナン」は
君の中に
ある真実の一つだ

そうじゃないのかい？

名探偵くん



……
っ



ありがとう

……
そうだね

安室の
にいちゃん

知ってた？

「コナンにとって
安室のいちちゃん
は力強くて信頼の出来る
頼りになる仲間なんだよ」

ずっと一人で走ってた
「コナン」の前に
現れてくれた協力者で

子供であるコナンの言葉に
真剣に耳を傾けてくれて
力を貸してくれた数少ない
大人の一人で



安室さんや赤井さんが
コナンを信頼して
いつも見守ってくれて
こわいものなんて
なくなった

だからコナンは
立ち止まることなく
真実まで走れたんだ



コナンくん…



これからも
頼りにしてるよ

安室の
にいちちゃん

「工藤新一」も
よろしくね



親しみを込めて
呼ばれる名前は

本来の自分のもの
ではないとはいえ
くすぐたかった

「安室透」の周りは
優しい時間が
流れている

でもそれも
そろそろ終わりに
しなくてはならない

日本での
残務処理を
終えたら

FBIは
完全に撤退する

帰国する
赤井から鍵を
返して貰ったら

あの部屋は
解約して

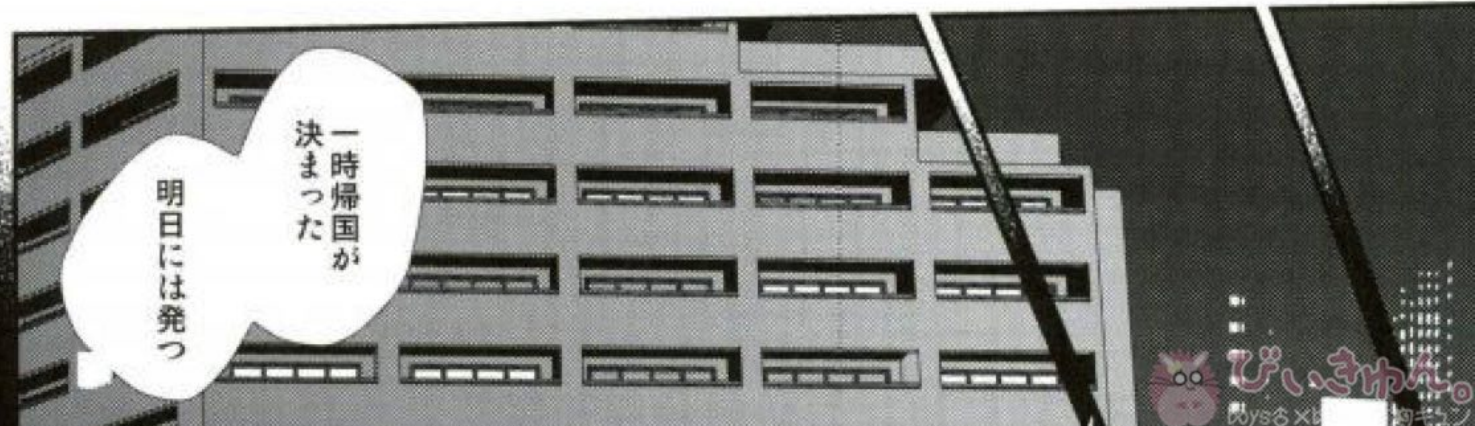
「安室透」は
消える



はい
ただいま

安室さん
オーダー
お願いしまーす

それで
終わりだ



一時帰国が
決まった

明日には発つ



ああ…

そうですか…
これまた
急ですね

報告がてら一度
帰らなくては
ならなくてね

そりゃ
そうですね

貴方、一度も帰国
してないんでしょう？
他の捜査官は何人か
一時帰国してるのに

スターリング
捜査官が
零してましたよ



いつの間に
ジョディと仲良く
なったんだ？

別に仲良くは
なってませんが…

同じ敵を射ち落とした者同士
交流が生まれても何も
おかしくないじゃないですか

これ出来たので
もって行って
ください

まあ…

そうだが

…うまそうだ

当然です！
僕が作ったんです



そうですね

忙しいですね
もっとゆっくり
して来れたら
よかったですね

まあ、今の状況では
難しいでしょうが



来日は
2週間前後だ

所用が終わったら
すぐ日本に戻る
つもりでいる



安室くん

はいっ



.....



その時はまた
ここに帰って来ても
いいか？



大げさな...

掠り傷ですよ



大丈夫か



掠り傷でも放っておくと酷くなることもある

君も知っているだろう
絆創膏をもってくる



それは

回の事のいじを
言ってるんだ

...意外と過保護
ですよね
あなたって



.....さっきの
話ですが



ん？

次はきちんとホテルを
取るか、セーフハウスを
借りるなりしてください

ここに泊めたのも
コナンくんのお願
いでしたから渋々
だったんです

正直、自分のテリトリーに
他人をいれるのは
ストレスを感じるので



他人、か

まあ、
そうだな

次に来た時には
この部屋はもぬけの殻
になっているだろうし



いや
降谷くん



！

ここが君の本来の
部屋ではないことは
わかっているよ

安室くん



あの日俺が
言った言葉は
嘘はない

降谷くん

それなら話は
早いです

それにその名前で
呼ぶのはやめ……



……？



君の家で一緒に
暮らすようになってから
1ヶ月、俺は待った

けれど

君は仕事を増やし
俺と顔を合わせよう
ともしない

別に……

そんな……

君の業務のことは
風見くんに聞いてみた

部下に回す仕事も
自分でしている
そうだな

……っ

風見の奴……っ



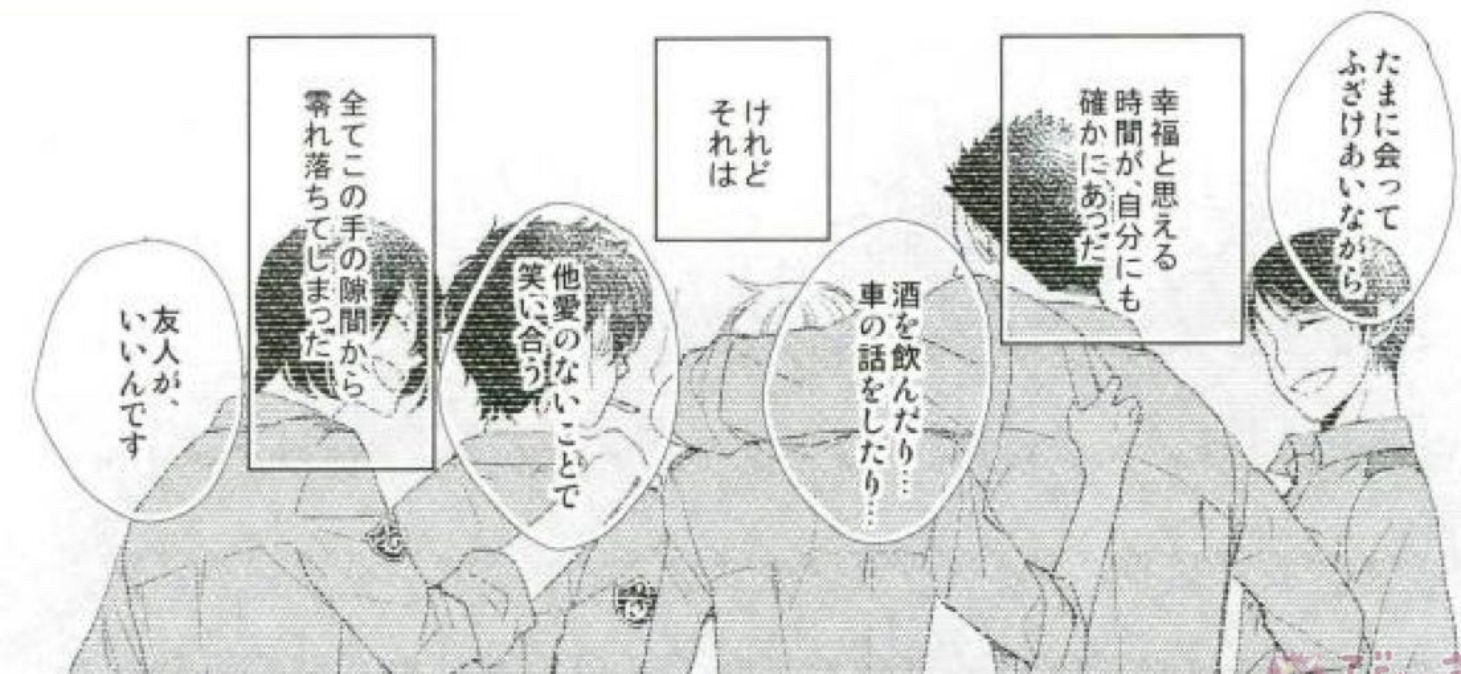


なら、

俺は…僕も…
あの時と答えは
変わりません

貴方とは
友人のままでいたい

友人じゃ
駄目なんですか？



たまに会って
ふざけあいながら

幸福と思える
時間が、自分にも
確かにあった

酒を飲んだり…
車の話をしたり…

けれど
それは

他愛のないことで
笑に合う

全てこの手の隙間から
零れ落ちてしまった

友人が、
いいんです



それは
友人じゃなくても
出来る

僕は……!



貴方を
失いたくない

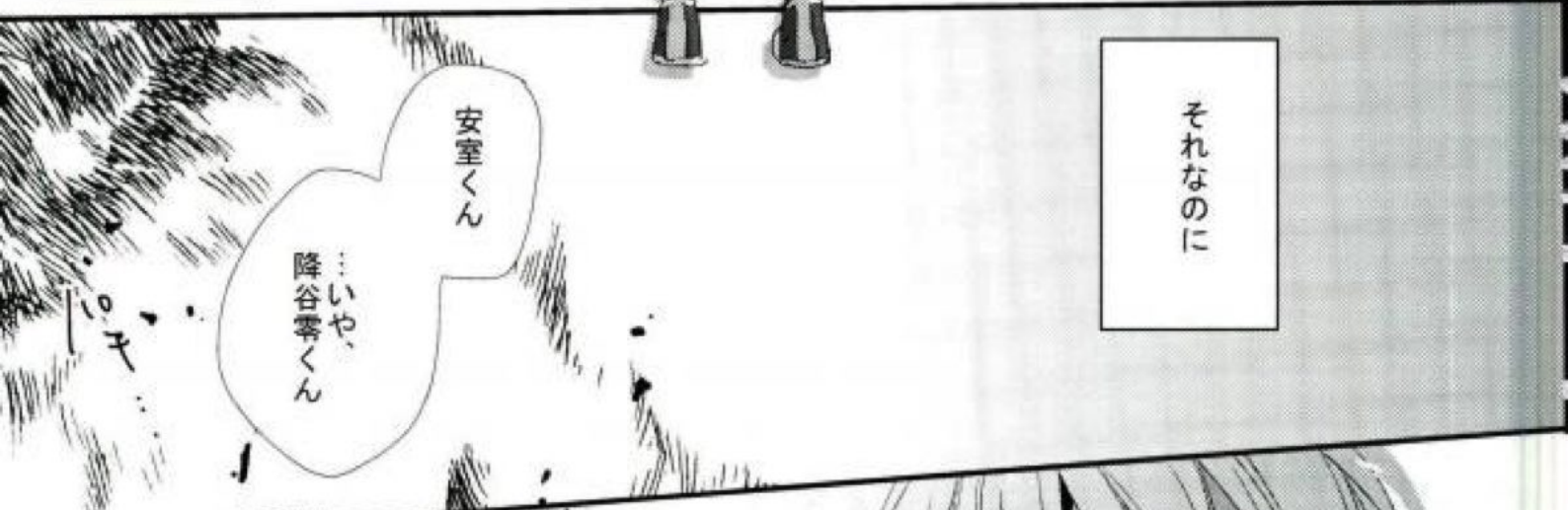




大切な人達は
みんな自分を
置いていって
しまった

自分が願うと
失ってしまうのなら

最初から
欲しがらなければいい



それなのに

安室くん

いや、
降谷零くん





お前が…っ！

終わったと思ったら
感極まってな

あなたの感情なんて
聞いてません！

…勝手だな

ふむ…

お前があんなこと
言うから……！

僕達の関係に
名前なんていらな
いって思ってた

たまに会って
お互いを慰めあう

それだけで
よかったんだ

勝手でも
なんでもいい





君はいい友人の
仮面を被り

俺を欺くつもり
なんだろう？

俺が帰国した後、
「安室透」は消え
「降谷零」も隠れる



……っ

笑わせてくれる



公安の力を使えば
雑作もないことだろう

君は
そういう男だ

そうなれば
他国の人間が
踏み込む事なんて
出来ない

「友人」が聞いて
呆れる……



ふん

臆病者の
やることなんて
誰でもわかるさ

……なんとも
言ってくれ



そこまで
お見通しとは

さすがは
シルバードレット
ですね

それといい加減
離してください

痛いんですよ
この馬鹿力め



幸福なんて
いららない

どれも
違います



僕が望んで
ないだけです



君は何故、
自分から幸福を
遠ざけようとする

自分には不要だと
思っているのか？

それとも
罪悪感からか？



せっかく…



安室くん

…いや、
降谷零くん



なんで…

スコッチの真相を
知って…あなたとの
確執もなくなって

これからは普通の
態度であなたと
過ごそうと
思っていたのに



君が好きだ



馬鹿赤井

なんで
好きだなんて
いうんだよ

大体、まだ
残党が残っている
かもしれない状況で

よくもまあ
あんなこと
言えたもんです

感情の
コントロールは
得意だった

自分を殺すことも

泣いて傷付いてる
自分に蓋をするのは

あちこちで
爆発音だっ
てしていたのに…

長年培った経験で
カバー出来たのに

この目の前の男は

それをいとも簡単に
取り去ってしまう



…君は
難解な男だな

降谷くん

本心で
言ってる分
タチが悪い

本当に
面倒臭い男だ

うるさい

ああ

短くもない
つきあいだ

知っていたが

知ってたのかよ！

君の行動は
大方予想がつくし
知っているつもりだ

だが

他人の幸福は
どうだ？

は？

君の部下や
仲間達、友人

あのボウヤや
毛利探偵は？

今度は
カウンセラー
気取りですか？

君は自分自信の
幸福には無頓着だ

そこまで
冷徹にはなれない

不器用な男だ

俺の幸福も
望んでくれて
いるのだろう？

はあ？

誰があなたの
幸福なんて…

おや

君はさっき
言ったじゃないか

俺を失いたくないと

あの一言で俺は
随分自惚れて
しまったね

それは…っ

降谷くん

いや、

零くん





なっ…
赤っ……

……



あ

この声を聞いてしまったら

はっ

零くん



は…っ



んっ…

……

誰も聞いてない
俺だけだ

君の願いも
心も

聞くのは
俺だけで充分だ

コントロール
出来なくなる

だから

…本当に
わからないんですよ

どうしたら
いいのかわ

こいつは
きらいなんだ

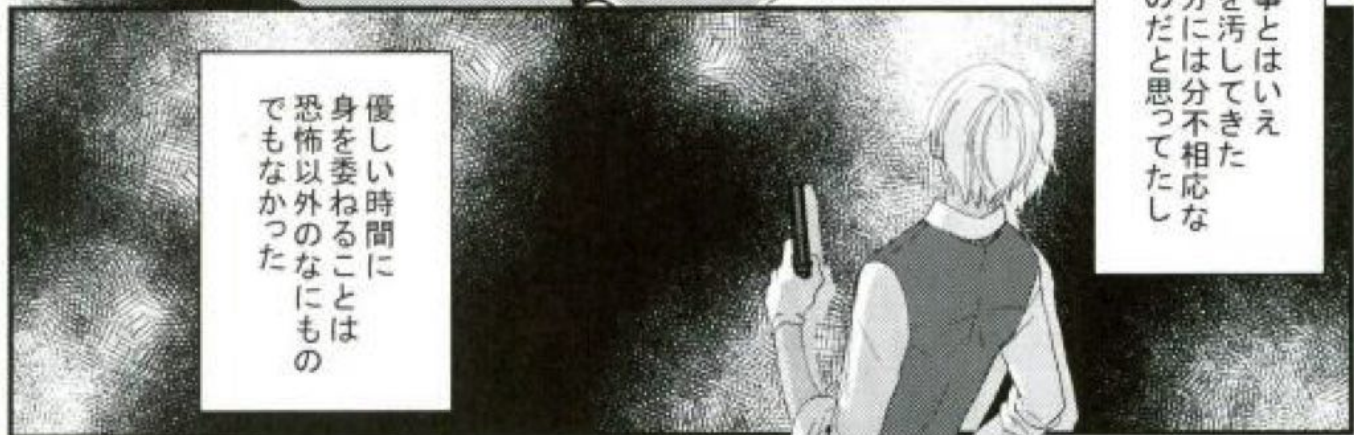




僕だって
あなたに
触れたいと
思う

でも

伝え方が
わからない



仕事とはいえ
手を汚してきた
自分には分不相応な
ものだと思ってたし

優しい時間に
身を委ねることは
恐怖以外のなにも
でもなかった



零くん!

だって
知ってしまったら

手に入れることが
出来てしまったら

それを失ってしまった時
自分はどうやって立ったら
いいのかわからなくなる



僕は……

はあ

赤井

どうしたら
あなたに
優しく出来るか
わかりません

優しくする方法が
わからないんだ



嫌いだった

憎かった

殺してやる

ずっと
そう思ってた

けれど

真実を知って

彼の懐の大きさを

守られていた事を知って

自分の

本当の感情を
知ってしまった

僕だってあなたに
優しくしたい

でもっ…

方法が
わからないっ…

……零くん

俺に優しく
したいというなら



心を隠さないでくれ



ああ
わかってるさ

…そんなの
無理に
決まってる

俺は良しと
してない

自分を大切に
しないことも

君が自分の
幸福に
無頓着なもの



君は俺の大切な人だ



赤井…？

降谷零くん

少しでも俺のことを想ってくれてるのなら

君自身をどうか粗末に扱わないでくれ



ああ

馬鹿で結構

弱弱しく笑う赤井を見て

今更ながら気付いた



馬鹿じゃないですか







ふっ

あ...かい...っ

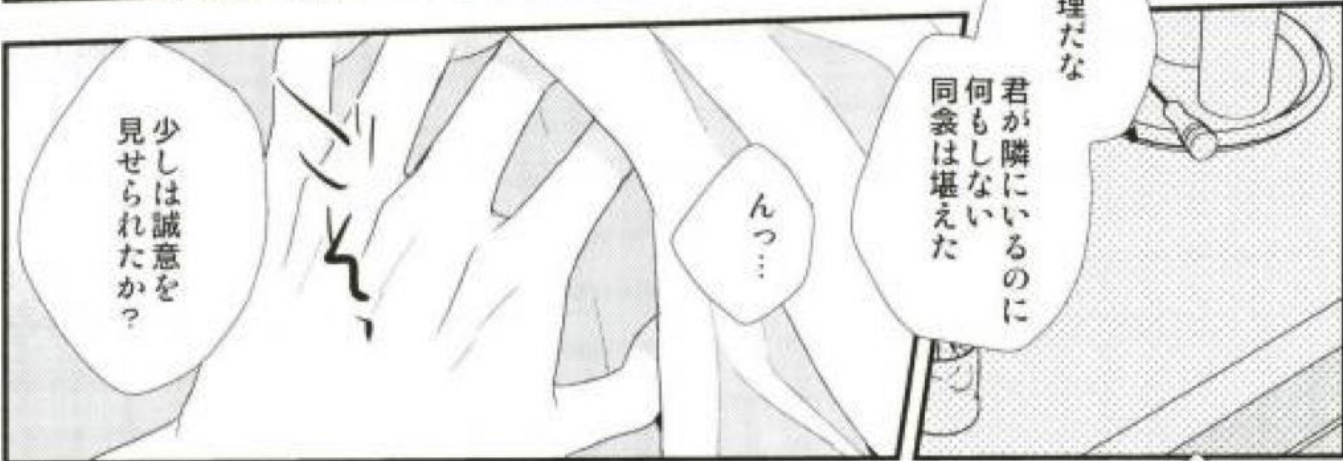


……っ

…触れてもいいか？



…今更っ
やめられるんですか



無理だな
君が隣にいるのに
何もしない
同衾は堪えた

んっ…

少しは誠意を
見せられたか？



…結局手を出すなら
誠意なんて
なかったも同然だろ

そうだな

いやか？

…震えてる

……っ

…いえ
あなたとするの
別に初めてじゃ
ないのに

馬鹿みたいに

緊張してる



赤井？

久しぶり
だからな

優しくする



…別に
いいです

僕の肌を
滑る手は



いつだって
ずっと
優しかった

だから

あっ……

びいきゅん。





あつ



あっ...

は...あ...あ...

んあっ...

あ...あ...

やっ...

あ

あっ...あっ



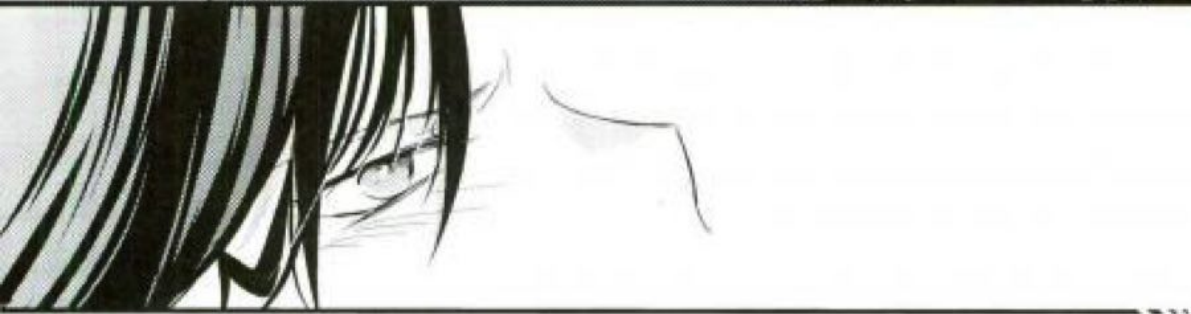




あ...かい...っ

.....
っ

.....
っ



ああ





零くん

人のベッドで
煙草吸わないで
ください

寝室は
禁煙だって
言ったでしょ

身体だけの関係の
方がいろいろ
後腐れなくていいと
思ってたんですけど



…ずっと

あなたが僕を
好きじゃなければ
いいと思ってました



怖くなったんです

だから
あなたに
好きだと
言われて



安心してくれ

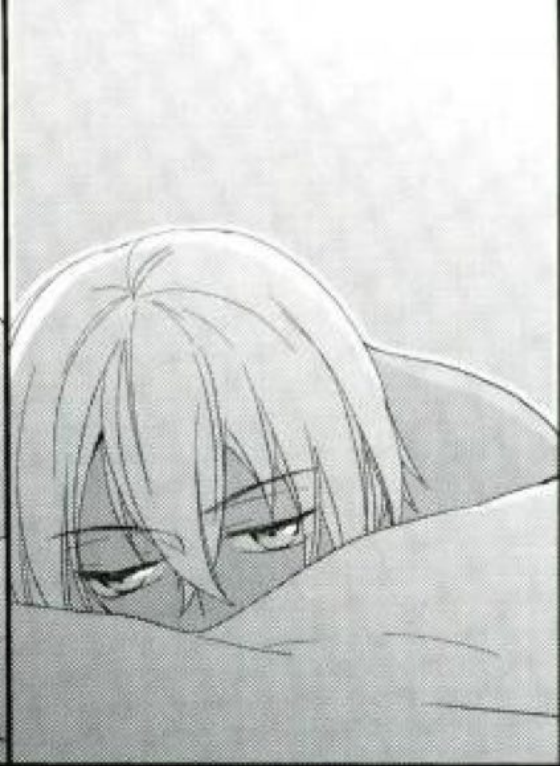
俺は一度
死んだ男だ



死神からも
嫌われている



だから



君が俺を
置いていくことも
許さない事にした





君が

俺の作った料理を
食べてくれた時から
自惚れていたんでね



君の逃げ道は
全部塞ぐことに
決めたんだ



なにそれ

すごく
わがままで

ああ

知らなかったのか？
俺はそういう男だろ





だから

諦めてくれ

「あのね、
安室さん」

「おっおっおっ
くれたこと
嬉しかった」

「でもね」

安室の兄ちゃんも
そうだって
知ってるよ。」

「ハーボンも
安室透も
降谷零も



「全部あなたの
真実でしょ？」

「ククク...



「ね？」

「プログラマー」





…勝手なこと
ばかり言って

荒らすだけ
荒らして

これだから
FBIは嫌いだ

大体
あんなお人よしで
FBIが勤まるのか


「今はネットも
メールもある」

「リアルに話を
することだって
出来るし

フライトだって
たった半日程度だ」

相変わらず
言うことが
臭いんですよ

「距離なんて問題じゃない」



…説教なんて
久々にされた


赤井秀一は
鍵を返しては
くれなかった

部屋の解約が
できなくなった

どうしてくれる

2週間後
帰ってきたら
文句を言ってやろう

奴がいなくて
寝不足になったら
これについても
文句を言ってやる



それから

それから

「おかえり」って
言ってもいいな





あきらめ
しるし
の
あざむき

DETECTIVE CONAN UNOFFICIAL FANBOOK #02
SYUICHI AKAI x TORU AMURO
ANCOROMOCHI 2016

